

厚木基地と艦載機による騒音被害

厚木基地の変遷と航空機騒音

人口過密都市に存在し、わたしたちに騒音被害や墜落の恐怖などを与え続ける厚木基地。

6月5日に米空母キティホークが横須賀に入港し、9月26日に出港するまで、約4カ月間にわたり激しい航空機騒音が続きました。
夜間連続離着陸訓練(Night Landing Practice、以下NLP)はその訓練の9割以上が硫黄島に移り、厚木基地での訓練は比較的騒音が少ない機種で行われてきました。

しかし、再三の中止要請にもかかわらず強行された9月のNLPは、近年にない騒音被害をもたらし、市民をたいへん苦しめるものとなりました。また、ひと月に2度も行われたNLPは、過去に例を見ません。

ひどかった今夏の航空機騒音。今回の特集ではそれらの状況を踏まえ、厚木基地の実態を明らかにします。

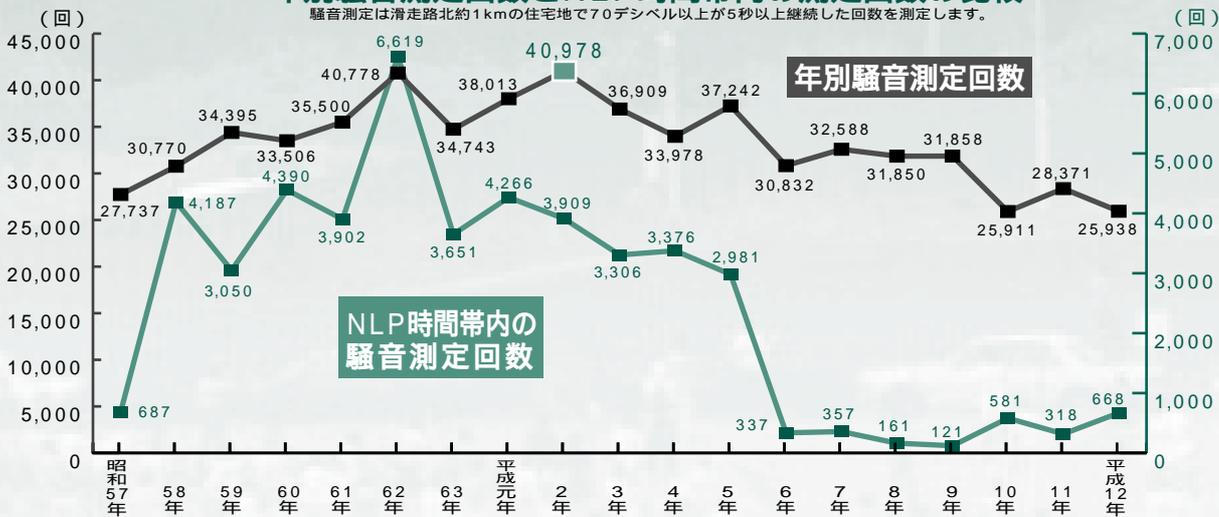
同基地は、昭和13年に旧日本海軍が建設した航空基地です。太平洋戦争後は米軍に接収され、昭和25年以降、米第7艦隊の後方支援基地として使用されるようになりました。それと前後してジェット戦闘機が配備され、そのころから基地周辺上空で、激しい訓練が行われるようになりました。

昭和48年、横須賀が米第7艦隊の主力艦である空母ミッドウェイの事実上の母港となり、厚木基地に艦載機が飛来するようになりました。加えて、昭和57年からは艦載機によるNLPが厚木基地で実施され、昼間に加えて夜間にも激しい集中訓練が行われるようになりました。このNLPにより、騒音被害がいつそう深刻化しました。

その後、米空母はインディペンデンスを経て、現在はキティホークとなりました。その間、艦載機は順次更新され、航空機騒音は更に激化しました。そのような中、平成2年には騒音の年別測定回数が高齢で最高を記録しました。

年別騒音測定回数とNLP時間帯内の測定回数の比較

騒音測定は滑走路北約1kmの住宅地で70デシベル以上が5秒以上継続した回数を測定します。



平成12年は9月までの数値です。



米空母キティホーク

NLPによる騒音被害

米空母の出港が近づくと、艦載機が空母に帰還する準備として、滑走路の一部を空母の飛行甲板に見たてた離発着訓練が実施されます。特に夜間に行われるNLPは、睡眠や家族だんらんの妨げとなり、日中の飛行騒音以上に市民に甚大な騒音被害をもたらします。

NLPの騒音問題を解消するため、本市をはじめ、神奈川県や基地周辺市の働きかけにより、国は硫黄島に代替訓練施設を建設し、平成5年に米軍へ提供しました。これにより、NLPの90%以上が硫黄島で実施されるようになりましたが、いまだ全面移転には至っていません。悪天候や訓練日程などを理由に、厚木基地でもNLPが続いているのが現状です。



硫黄島

		平成2年	平成3年	平成4年	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年
厚木基地	回数	1,910	1,516	1,770	1,690	270	240	160	80	420	460	630
	比率(%)	50.2	52.9	38.3	20.3	14.9	4.5	4.4	2.8	11.1	13.6	22.7
硫黄島ほか	回数	1,892	1,350	2,846	6,637	1,545	5,146	3,436	2,739	3,374	2,920	2,145
	比率(%)	49.8	47.1	61.7	79.7	85.1	95.5	95.6	97.2	88.9	86.4	77.3
全体	回数	3,802	2,866	4,616	8,327	1,815	5,386	3,596	2,819	3,794	3,380	2,775

NLP実施状況・比率

平成12年は9月までの数値です。



NLPによる艦載機の軌跡



安全で静かな大和市を目指して

市民が安心して暮らせる静かな空を1日も早く取り戻すために、市は市議会や周辺自治体などと協力し、国や米軍などに積極的に働きかけをしています。

訓練計画

米海軍は、昭和57年以降、NLPの訓練計画を座間防衛施設事務所を通じて周辺各市へ事前通告し、新聞などで公表しています。しかし、訓練計画の通告があっても、市民にとっては突然の訓練の始まりにすぎません。

更に、NLP以外の飛行計画はいつさい公表されていません。厚木基地がすぐそばにありながら、ほとんどの情報が知らされないことに対し、市民のイライラが募っています。

市は、国や米軍に対してNLPの中止のみならず、訓練計画の公表も強く求めています。

市の要請活動

市は、艦載機による騒音問題を解消するため、単独で要請活動を繰り返すだけでなく、市民各層の代表者で組織する「大和市基地対策協議会」や、基地周辺自治体、県などで構成する「厚木基地騒音対策協議会」、「神奈川県基地関係県市連絡協議会」の一員として、積極的に要請活動をしています。

要請先は、駐日米国大使や在日米海軍司令官などのほか、内閣総理大臣や外務大臣など、国と米国の双方に対し、繰り返し粘り強く行っています。



5月以降の市の主要請活動

日付	要請内容	要請者	要請先
5/10	デモンストレーションフライト(基地開放日の展示飛行)の中止について	大和市長	④
5/12・15	デモンストレーションフライトの中止について	神奈川県と大和市を含む周辺市	①・③・④・②・③・④など
5/23 デモンストレーションフライト実施を公表			
5/31	デモンストレーションフライトの中止について	大和市長	④
5/31・6/1	デモンストレーションフライトの中止について	神奈川県と大和市を含む周辺市	①・③・④・②・③・④など
6/5 米空母キティホーク入港			
6/30・7/1・2 デモンストレーションフライト実施(6/30はリハーサル)			
7/5・6	デモンストレーションフライトの廃止について	神奈川県と大和市を含む周辺市	①・③・④・②・③・④など
7/14	基地問題に関する要望書提出	神奈川県基地関係県市連絡協議会	①・②・③・④など
8/25 NLP通告			
8/28	厚木基地におけるNLPの中止について	大和市長	④
8/29	厚木基地の早期返還と基地対策の抜本的改善に関する要望	大和市基地対策協議会	①・②・③・④
8/29	厚木基地におけるNLPの中止について	大和市長	①・②・③・④
8/30・31	厚木基地におけるNLPの中止について	神奈川県と大和市を含む周辺市	①・③・④・②・③・④
9/5～8 第1回目NLP実施			
9/12・14	厚木基地におけるNLPの中止について	神奈川県と大和市を含む周辺市	①・③・④・②・③・④
9/18～20 第2回目NLP実施			
9/19	厚木基地におけるNLPの中止について	大和市長	④
9/20 大和市長が厚木基地との友好関係の中断を表明			
9/23 コーエン国防長官がNLPについて遺憾の意を表明			
9/25	厚木基地との友好関係の中断を伝達	大和市長	④
9/26 米空母キティホーク出港			
9/29	厚木基地におけるNLPの抗議について	神奈川県と大和市を含む周辺市	③・④・②・③・④
10/3	厚木基地との友好関係の中断を伝達	大和市長	③

要請先欄の数字は、4ページの図の各機関の番号です。



10月3日、チャップリン在日米海軍司令官と会談する土屋市長

NLPの実態と市の対応

さまざまな要請活動の結果、NLPは平成6年以降、訓練の約90%が硫黄島で行われるようになりました。しかし、今夏のNLPによる騒音被害は特に激しく、今後、騒音被害の悪化が懸念される結果となりました。

6月5日に入港した米空母キティホークは、約4カ月間という例年になく長期にわたり滞在しました。

9月に行われたNLPは、当初から厚木基地での訓練を計画し、硫黄島では限

定的にしか行わない計画でした。更に、ひと月に2回もNLPが行われるというかつてない訓練となり、市民に甚大な騒音被害をもたらしました。

9月の2回にわたるNLPは、硫黄島での実施を基本としてきたこれまでの経過を無視するもので、その騒音はとうてい市民が我慢できるものではありませんでした。

そのため、騒音が最もひどかった9月19日には、午後6時から10時までの4時間、123件もの苦情が市へ寄せられました。そして、6月から9月の間に市へ

寄せられた2,034件もの苦情は、市民の苦痛と不満の表れといえます。

このような、平穏な市民生活を破壊する行為に対し、市は当分の間、米海軍厚木基地関係者との友好関係を中断することを発表し、強く抗議するとともに、10月3日、土屋市長は在日米海軍司令官に直接申し入れをしました。

市は、今後とも厚木基地でのNLPの中止を求めるとともに、硫黄島へのNLP全面移転に向けて全力で取り組んでいきます。

今夏のような艦載機による騒音被害が再び繰り返されないよう、市では今後とも国や米国大使館などの各関係機関へ粘り強く要請を続けていきます。

特に硫黄島をじゅうぶんに活用し、NLPを硫黄島へ全面移転することで、厚木基地では訓練を行わないよう、強く働きかけていきます。

なお、厚木基地に対する市の取り組みや要請活動の状況は、市のホームページに掲載しています。

問い合わせは、市役所基地対策課基地対策担当 ☎(260) 5310へ。